

「第三回桜開花予想」、700か所の開花・満開予想をアプリ「ウェザーニュースタッチ」で公開 東京・福岡・熊本が桜開花トップ、西・東日本は例年並～やや遅い予想 ～人気の東京・上野恩賜公園は3月22日、京都・嵐山は29日に開花の見込み～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、桜の季節に向け「第三回桜開花予想」を発表しました。今シーズンのソメイヨシノの開花は、主要都市と名所では、3月21日に熊本(熊本城)・福岡(舞鶴公園)・東京(靖国神社)から始まり、西・東日本では3月末～4月上旬にかけて満開の桜を楽しめる見通しです。

現在のつぼみの生長は、全国的に開花が早かった昨年とほぼ同じペースで進んでいますが、この先天気と気温が周期変化するため、今年は昨年より開花の遅い所が多そうです。西日本の開花時期は例年並(過去5年平均)～やや遅い予想、東・北日本は例年並とみています。

本開花予想は、「全国つぼみ調査」の2,158通の報告、「さくらプロジェクト」の参加者から届く報告、今後の気象予測をもとに算出しています。全国のお花見名所700か所の最新見解は、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」やウェブサイト「ウェザーニュース」の「さくら Ch.」からご覧いただけます。なお、「第四回桜開花予想」は3月5日に発表予定です。

※本プレスリリースにおける開花時期の“例年”とは、2014～2018年の過去5年の平均で算出しています。

✓ポイント

1. 開花予想日：前回(2/14)の発表から大きな変更なし。東京・靖国神社は3月21日開花の見通し
2. 西日本は暖冬傾向で休眠打破に遅れ？開花時期は例年並～やや遅い予想、東・北日本は例年並の開花に
3. つぼみの生長は昨年とほぼ同じペース。3月は寒暖の変化が大きいですが、つぼみの生長は加速と減速を繰り返しつつも順調に進む見込み

本プレスリリースの素材のダウンロード	第三回桜開花予想の一般向けサイト	桜名所700か所の見頃予想はこちら
ウェブ版プレスリリース「第三回桜開花予想」 https://jp.weathernews.com/news/26249/	ウェブサイト「第三回桜開花予想」 https://weathernews.jp/s/topics/201902/260055/	ウェザーニュースウェブサイト「さくら Ch.」 https://weathernews.jp/s/sakura/

◆2019年「第三回桜開花予想」

<東京・福岡・熊本から開花スタート！西日本では例年並～やや遅い、東・北日本は例年並の予想>



今シーズンのソメイヨシノの開花は、主要都市と名所では、3月21日に熊本(熊本城)・福岡(舞鶴公園)・東京(靖国神社)から開花がスタートし、翌22日には神野公園(佐賀県)、高知(高知公園)・東京(上野恩賜公園)、長崎市・佐賀市・松山市・高知市・広島市・和歌山市・名古屋市・岐阜市で開花を迎えます。西・東日本では3月末から4月上旬にかけて満開の桜を楽しめる見通しです。

現在のつぼみの生長は、昨年同時期とほぼ同じペースで進んでいます。今後、西・東日本は、4月にかけての気温は平年並か高く、つぼみの生長は順調に進む見込みです。ただ、西日本の太平洋側を中心に休眠打破が遅れる可能性が

あるため、桜の開花は西日本では例年並～やや遅い予想、東日本では例年並の予想です。

北日本は、たびたび低気圧や寒気の影響を受けるため寒くなる日があるものの、3月～5月の気温は平年よりやや高く、例年並の開花となる予想です。北海道道南(五稜郭公園)では、4月27日に開花を迎えた後、GW中頃から満開の桜を楽しめそうです。

	西日本	東日本	北日本
開花時期	例年並、九州南部: やや遅い	例年並	例年並
開花に影響する時期の気温傾向	3月: 平年より高い 4月: 平年並	3月: 平年よりやや高い 4月: 平年よりやや高い	3月: 平年よりやや高い 4月: 平年よりやや高い 5月: 平年よりやや高い

※前回(2月14日)発表からの変化

西日本: 3月平年並→平年より高い

東日本: 3月平年よりやや低い→やや高い、4月平年並→やや高い

北日本: 3月平年よりやや低い→やや高い

<前回(2月14日)発表の桜開花予想との相違点>

- ・見解: 開花予想日は前回の発表とほぼ同じとなりました。3月以降の気温が平年並→やや高い傾向に変わりましたが、3月後半～4月は曇りや雨の日が多く日照時間が短くなりそうです。また、花冷えの日もあるため、大きく変更しませんでした。
- ・データ: 前回は、気象の長期予測や過去15年間に寄せられた桜の生長状況に関する観察レポートの解析をもとに発表しましたが、今回は「全国つぼみ調査」の結果も加味して発表しています。つぼみの現在の状態を細かく把握することで、前回の発表より高い精度で開花日を予想できるようになります。生長するつぼみの変化を見逃さないため、毎週木曜日～土曜日に「全国つぼみ調査」を行う予定です。

<「全国つぼみ調査」による全国の桜の生長状況>

全国 2,158 本の桜(うちソメイヨシノ 1,556 本)の「全国つぼみ調査」(※)の結果、現在のつぼみの生長は、昨年同時期とほぼ同じペースで進んでいることがわかりました。

今冬は気温が高めで、休眠打破が遅れているところもあるようですが、断続的に寒気の影響を受けていることから休眠打破が行われたと見えています。また、開花が早かった昨年も、この時期のつぼみはまだ生長が始まったばかりだったため、今回大きな差が出なかったと考えられます。



全国の桜の生長状況

一方、北日本は、つぼみの生長についての報告数が少なく、実態が詳しくわかるのはもう少し先になりそうです。現在は、ほとんどの桜がまだ小さく硬いつぼみですが、過去の調査結果を参考にすると、変化がはっきりと始めるのは、3月中旬以降になる見込みです。

※「全国つぼみ調査」について

ウェザーニューズでは、全国の桜の生長状況を調べるため、2月21日～23日の期間、全国のウェザーニューズ会員と共に「全国つぼみ調査」を実施しました。本調査では、つぼみの生長を7段階(“まだ小さく硬い”“先が黄色に”“先が緑に”“半分以上が緑に”“先がピンクに”“花びらが見えた”“花の軸が伸びきった”)で写真と共に報告いただきました。

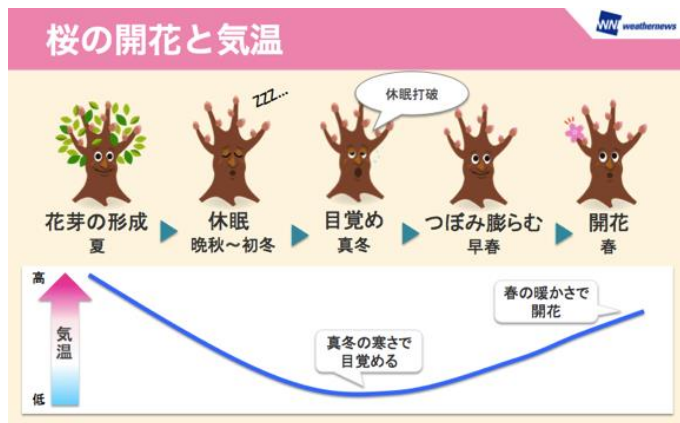


“花の軸が伸びきった”)で写真と共に報告いただきました。

<気温の推移と開花への影響:九州南部を中心に休眠打破に遅れ?>

桜の順調な開花には、春の暖かさだけでなく、秋から冬にかけての寒さも必要です。桜は前年の夏に翌年咲く花のもとになる“花芽”を形成します。気温が下がると花芽は休眠に入り、しばらく生長を止めます。その後、さらに気温が下がり一定期間、低温にさらされると花芽は「休眠打破」してつぼみに生長します。つぼみは春先の暖かさに促され、開花に向けて生長します。

今シーズン注目となるのは暖冬の影響です。2月後半以降の暖かさは開花を促進する効果がありますが、2月前半までの暖かさは休眠打破を阻害し、つぼみの生長を抑制する作用があります。これらを踏まえ、開花への影響は以下のようになっています。



・休眠打破の振り返り(12月から2月前半)

12月・1月の気温は、西・東日本で平年より高く、北日本で平年並の傾向にあり、寒気が流れ込みやすかった北日本ほど休眠打破が行われている見込みです。西・東日本は、首都圏でも雪の降る寒さとなった日もあり、断続的に流れ込んだ寒気の影響で休眠打破が行われているとみています。ただ、2月上旬に季節外れの暖かさとなった日もあり、九州南部を中心に休眠打破が遅れている所もあるようです。

・生長期(2月後半の実況と今後の予測)

2月後半は寒暖差があるものの、暖かい日が多くなっています。このため、「全国つぼみ調査」の結果からもわかるように、つぼみの生長が始まりました。この先、西・東日本では天気が周期変化するのに伴って、寒暖の変化が大きくなります。ただ、期間全体を通してみると、3月・4月の気温は平年よりやや高い予想のため、つぼみの生長は加速と減速を繰り返しつつも順調に進んでいく見込みです。

北日本も、3月～5月の気温は平年よりやや高い予想のため、つぼみの生長は順調に進む見込みです。

◆名所の桜開花予想

全国 700 か所の名所の開花予想は、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」やウェブサイト「ウェザーニュース」の「さくらCh.」(<https://weathernews.jp/s/sakura/>)からご覧いただけます。以下の表は一部をピックアップしたものです。

エリア	都道府県	スポット名	開花日 (1輪)	満開 開始日	昨年の 開花日	例年の 開花日	
北海道	北海道	五稜郭公園	4/27	5/1	4/25	4/25	
		二十間道路桜並木(エゾヤマザクラ)	5/2	5/5	4/30	4/30	
東北	青森県	弘前公園	4/21	4/27	4/20	4/19	
	岩手県	北上展勝地	4/15	4/23	4/13	4/14	
	宮城県	白石川堤一目千本桜	4/4	4/10	3/31	4/4	
	秋田県	桧木内川堤のソメイヨシノ	4/23	4/26	4/22	4/21	
	山形県	霞城公園	4/11	4/15	4/5	4/10	
	福島県	開成山公園	4/7	4/12	4/2	4/6	
関東	茨城県	平和通り	3/30	4/7	3/26	3/30	
	栃木県	八幡山公園	3/31	4/5	3/28	3/30	
	群馬県	前橋公園	3/29	4/5	3/25	3/27	
	埼玉県	幸手権現堂桜堤(県営権現堂公園)	3/27	4/4	3/23	3/25	
	千葉県	千葉県	千葉公園	3/24	3/31	3/19	3/24
			上野恩賜公園	3/22	3/30	3/19	3/22
	東京都	靖国神社	3/21	3/29	3/17	3/21	
	神奈川県	三溪園	3/24	3/31	3/20	3/24	
中部	山梨県	大法師公園	3/26	4/1	3/26	3/28	
	新潟県	新潟県立鳥屋野潟公園	4/6	4/11	4/3	4/4	
	富山県	松川公園	3/31	4/4	3/28	3/31	
	石川県	特別名勝兼六園	4/2	4/6	3/30	4/2	
	福井県	足羽山公園	3/31	4/4	3/30	4/1	
	長野県	高遠城址公園(タカトオコヒガンザクラ)	4/3	4/9	4/1	4/5	
	岐阜県	新境川堤	3/26	4/2	3/23	3/25	
	静岡県	駿府城公園	3/26	4/4	3/20	3/24	
	愛知県	鶴舞公園	3/25	4/1	3/19	3/25	
	三重県	津借楽公園	3/26	3/31	3/26	3/28	
	近畿	滋賀県	彦根城	3/31	4/6	3/27	3/31
京都府		嵐山	3/29	4/4	3/26	3/29	
大阪府		大阪城公園	3/24	3/31	3/20	3/25	
兵庫県		姫路城	3/26	4/2	3/25	3/27	
奈良県		郡山城跡	3/27	4/3	3/24	3/27	
和歌山県		和歌山城	3/23	3/30	3/21	3/25	
中国・四国	鳥取県	打吹公園	3/26	3/31	3/25	3/28	
	島根県	松江城山公園	3/26	4/1	3/27	3/28	
	岡山県	岡山後楽園	3/25	4/1	3/24	3/26	
	広島県	平和記念公園	3/23	3/30	3/23	3/25	
	山口県	香山公園	3/25	4/1	3/26	3/27	
	徳島県	眉山公園	3/26	3/31	3/26	3/28	
	香川県	特別名勝栗林公園	3/24	3/31	3/24	3/26	
	愛媛県	松山城山公園	3/24	3/30	3/20	3/26	
	高知県	高知公園	3/22	3/30	3/15	3/21	
九州	福岡県	舞鶴公園	3/21	3/30	3/18	3/21	
	佐賀県	神野公園	3/22	3/29	3/20	3/23	
	長崎県	立山公園	3/24	3/30	3/16	3/23	
	熊本県	熊本城	3/21	3/28	3/18	3/22	
	大分県	平和市民公園	3/24	4/2	3/23	3/26	
	宮崎県	西都原古墳群	3/27	4/4	3/16	3/24	
	鹿児島県	甲突川河畔	3/28	4/2	3/19	3/27	

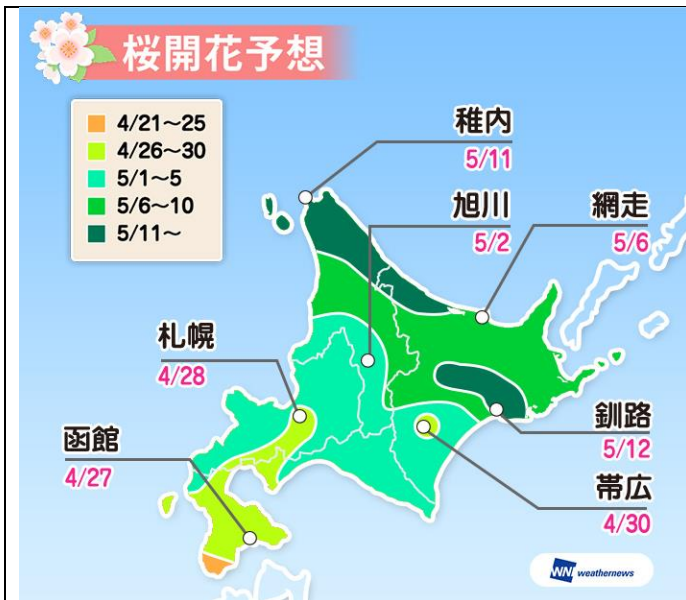
◆全国の主要都市の開花予想(ソメイヨシノ)

		今年の開花予想日	昨年の開花日
北海道	函館市	4/27	4/27
	札幌市	4/28	4/26
	旭川市	5/2	4/30
	稚内市	5/11	5/11
	帯広市	4/30	4/27
	釧路市	5/12	5/12
	網走市	5/6	5/2
東北	青森市	4/19	4/19
	盛岡市	4/14	4/12
	秋田市	4/16	4/17
	山形市	4/11	4/4
	仙台市	4/5	3/30
	福島市	4/3	3/30
中部 (日本海側)	新潟市	4/6	4/3
	長野市	4/6	4/2
	富山市	3/31	3/27
	金沢市	4/1	3/29
	福井市	3/29	3/29
関東	宇都宮市	3/29	3/26
	前橋市	3/29	3/25
	水戸市	3/29	3/25
	東京 23 区	3/21	3/17
	横浜市	3/24	3/19
	千葉市	3/23	3/19
	さいたま市	3/25	3/20
中部 (太平洋側)	甲府市	3/24	3/23
	静岡市	3/26	3/18
	岐阜市	3/22	3/19
	名古屋市	3/22	3/19
	津市	3/26	3/26
近畿	大阪市	3/24	3/20
	京都市	3/24	3/22
	奈良市	3/26	3/24
	和歌山市	3/22	3/20
	神戸市	3/25	3/23
	大津市	3/30	3/26
中国	鳥取市	3/26	3/25
	岡山市	3/25	3/24
	松江市	3/25	3/26
	広島市	3/22	3/22
	山口市	3/25	3/26
四国	高知市	3/22	3/15
	松山市	3/22	3/19
	高松市	3/24	3/24
	徳島市	3/24	3/23
九州	福岡市	3/21	3/18
	佐賀市	3/22	3/20
	長崎市	3/22	3/16
	大分市	3/24	3/23
	熊本市	3/21	3/17
	宮崎市	3/26	3/16
	鹿児島市	3/25	3/16

※北海道はエゾヤマザクラやチシマザクラなどソメイヨシノ以外も含んでいます。

※開花日はその都市ごとの開花(1輪)のピーク開始日を記載しています。(気象庁の気象官署とは異なります)

◆各エリアの桜開花予想



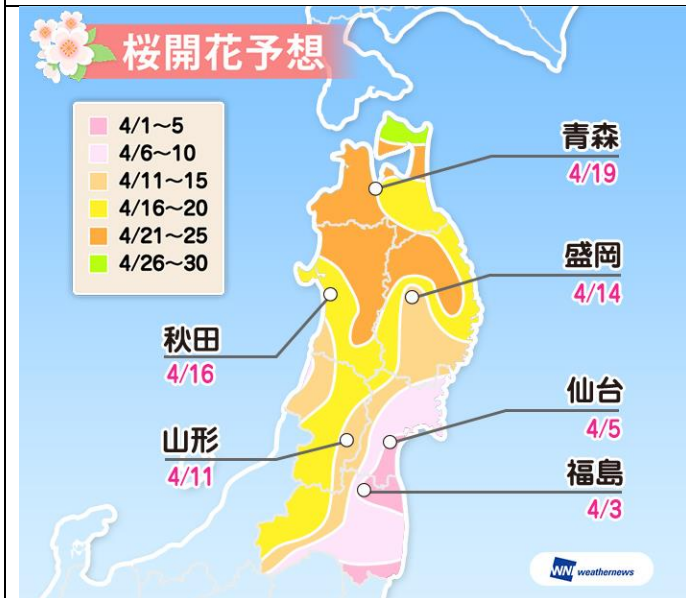
開花前線は4月27日頃、道南に上陸！札幌市はGW終盤に見頃に

今年は例年並の開花となる所が多い見込みです。北海道では、強い寒気が断続的に流れ込んだため、休眠打破は完了しているものと見られます。

「全国つぼみ調査」ではまだ小さく硬いつぼみがほとんどですが、過去の傾向から、変化がはっきりと出始めるのは3月下旬以降と考えられます。

3月後半は天気が周期変化して、寒暖の変化が大きくなりますが、4月からは段々と晴れる日が増えていきます。3月～5月の気温は平年よりもやや高くなるため、つぼみの生長が進みます。このため、桜の開花は例年並となる所が多く、昨年と同じくらいのスピードとなる予想です。

北海道では、4月27日開花予想の五稜郭公園(函館市)を皮切りに、渡島半島から開花が始まります。GW中頃からは五稜郭公園(函館市)で満開の桜を楽しむこともできそうです。札幌市は4月末から咲き始め、GW終盤から見頃となる見込みです。その後、5月中旬にかけて、道北や道東エリアへと桜の開花が広がっていきます。



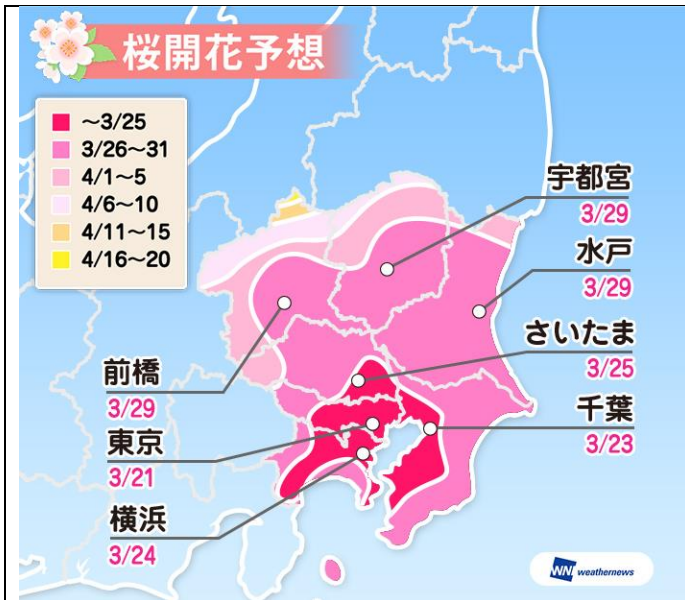
東北南部は4月上旬に開花！弘前公園、GWは早めのお花見がおすすめ

今年は例年並の開花となる所が多い見込みです。東北では、強い寒気が断続的に流れ込んだため、休眠打破は完了しているものと見られます。

「全国つぼみ調査」ではまだ小さく硬いつぼみがほとんどですが、南部では少しずつ先が黄色になり始めているものもあり、ゆっくりと生長をし始めていることがわかりました。

3月前半までは日本海側を中心に低気圧や寒気の影響で曇りや雪の日が多くなりますが、3月後半からは段々と晴れる日が増えていきます。3月・4月の気温は平年よりもやや高くなるため、つぼみの生長が進みます。このため、桜の開花は例年並となる所が多く、開花が早かった昨年と比べると、同じか遅い開花となりそうです。

4月上旬に宮城県南部や福島県浜通り・中通りから開花が始まり、開花前線は順調に北上していきます。4月4日開花予想の白石川堤一目千本桜(宮城県)をはじめ、東北南部では入学式に合わせて開花をする桜もありそうです。東北南部の早い所では4月10日前後から見頃となり、東北北部は4月下旬にお花見を楽しめる所が多くなりそうです。弘前公園(青森県)は4月21日に開花し、GW前半に満開を迎える見込みなので、GWは早めのお花見がおすすめです。



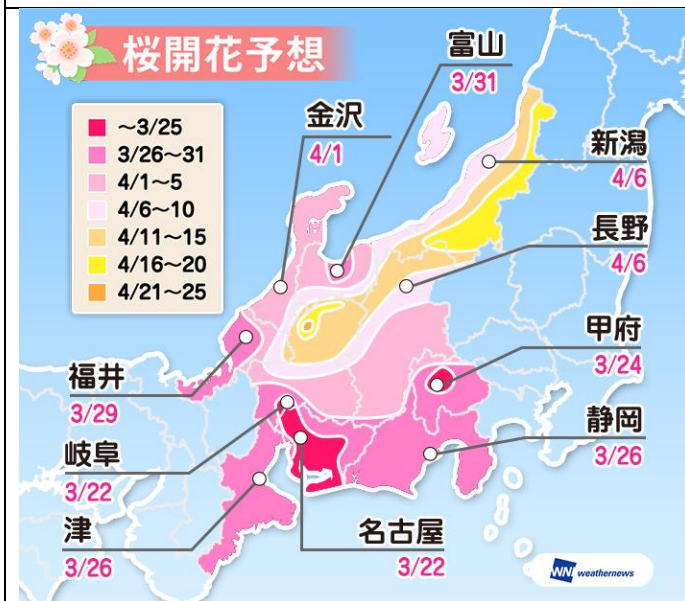
東京都内が開花一番乗り！南部のお花見は3月末から

今年は例年並の開花となる所が多い見込みです。関東では、2月上旬に季節外れの暖かさとなった日もありますが、雪を降らせるような寒気が断続的に流れ込んだため、休眠打破が行われているものと見られます。

「全国つぼみ調査」では小さく硬いつぼみがほとんどですが、先が黄色に変化しているものもあり、昨年や例年とほぼ同じペースで進んでいることがわかりました。

3月は天気周期変化して、寒暖の変化が大きくなります。また、4月はスッキリしない天気が多い予想です。ただ、期間全体を通してみると、3月・4月の気温は平年よりやや高い予想のため、つぼみの生長は加速と減速を繰り返しつつも順調に進む見込みです。このため、桜の開花は例年並で、開花が早かった昨年と比べると、同じか遅い開花となりそうです。

3月21日開花予想の靖国神社(東京都)をはじめ、3月下旬は東京都内で順次開花が始まり、3月末にかけて関東南部から関東北部へと開花エリアが広がっていきます。上野恩賜公園(東京都)など関東南部は3月末、前橋公園(群馬県)や八幡山公園(栃木県)など関東北部は4月上旬に満開の桜を楽しめる所が多くなりそうです。



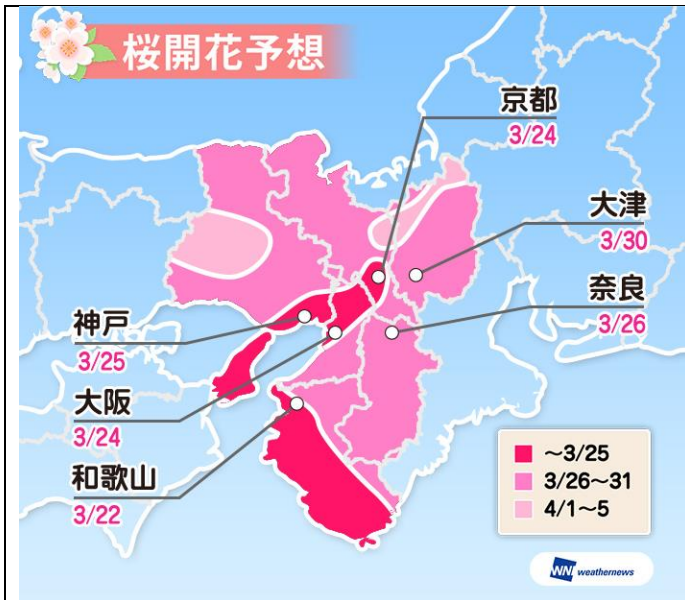
名古屋市・岐阜市から開花スタート！4月初めには東海で満開に

今年は例年並の開花となる所が多い見込みです。中部では、暖冬傾向により一部で休眠打破の遅れている所もありますが、寒気の影響を受けやすかった北陸を中心に休眠打破が行われているものと見られます。

「全国つぼみ調査」では小さく硬いつぼみがほとんどですが、先が黄色に変化しているものもあり、昨年や例年とほぼ同じペースで進んでいることがわかりました。

3月は天気周期変化して、寒暖の変化が大きくなります。また、4月はスッキリしない天気が多い予想です。ただ、期間全体を通してみると、3月・4月の気温は平年よりやや高い予想のため、つぼみの生長は加速と減速を繰り返しつつも順調に進む見込みです。このため、桜の開花は例年並で、開花が早かった昨年と比べると、同じか遅い開花となりそうです。

3月22日開花予想の名古屋市・岐阜市を皮切りに開花が始まり、4月上旬にかけて、太平洋側から日本海側や標高の高いエリアへと開花が進んでいきます。鶴舞公園(愛知県)など東海は4月初めから満開の桜を楽しめそうです。北陸西部では開花スピードが早く、開花した数日後には満開を迎える予想なので(特別名勝兼六園(石川):4月2日開花、4月6日満開)、早めのお花見計画がおすすめです。



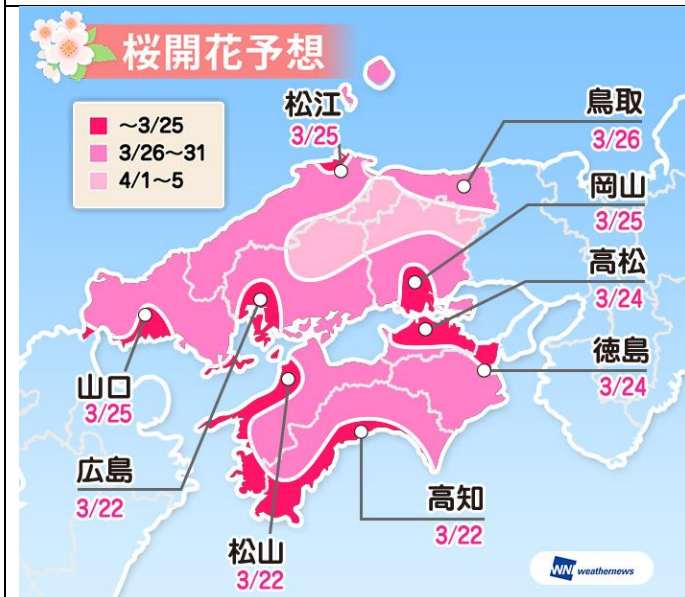
和歌山市から開花スタート！4月上旬には京都市内も満開に

今年は例年並の開花となる所が多い見込みです。近畿では、暖冬傾向により一部で休眠打破の遅れている所もありますが、2月上旬にかけて寒気が断続的に流れ込んだため、休眠打破が行われているものと見られます。

「全国つぼみ調査」では小さく硬いつぼみがほとんどですが、先が黄色に変化しているものもあり、昨年や例年とほぼ同じペースで進んでいることがわかりました。

3月・4月は天気が周期変化して、花冷えの日があるものの、3月の気温は平年より高く、4月の気温は平年並となります。つぼみの生長は順調に進み、桜の開花は例年並の3月下旬となる予想です。開花が早かった昨年と比べると、同じかやや遅い開花となりそうです。

3月22日開花予想の和歌山市を皮切りに開花が始まり、大阪城公園(大阪府)は3月24日に開花の予想です。近畿では3月下旬に開花が始まる所が多く、4月上旬にかけて、近畿北部や山沿いへ開花エリアが広がります。嵐山(京都府)は4月4日に満開を迎えるなど、京都市では4月上旬に見頃を迎える所が多くなりそうです。



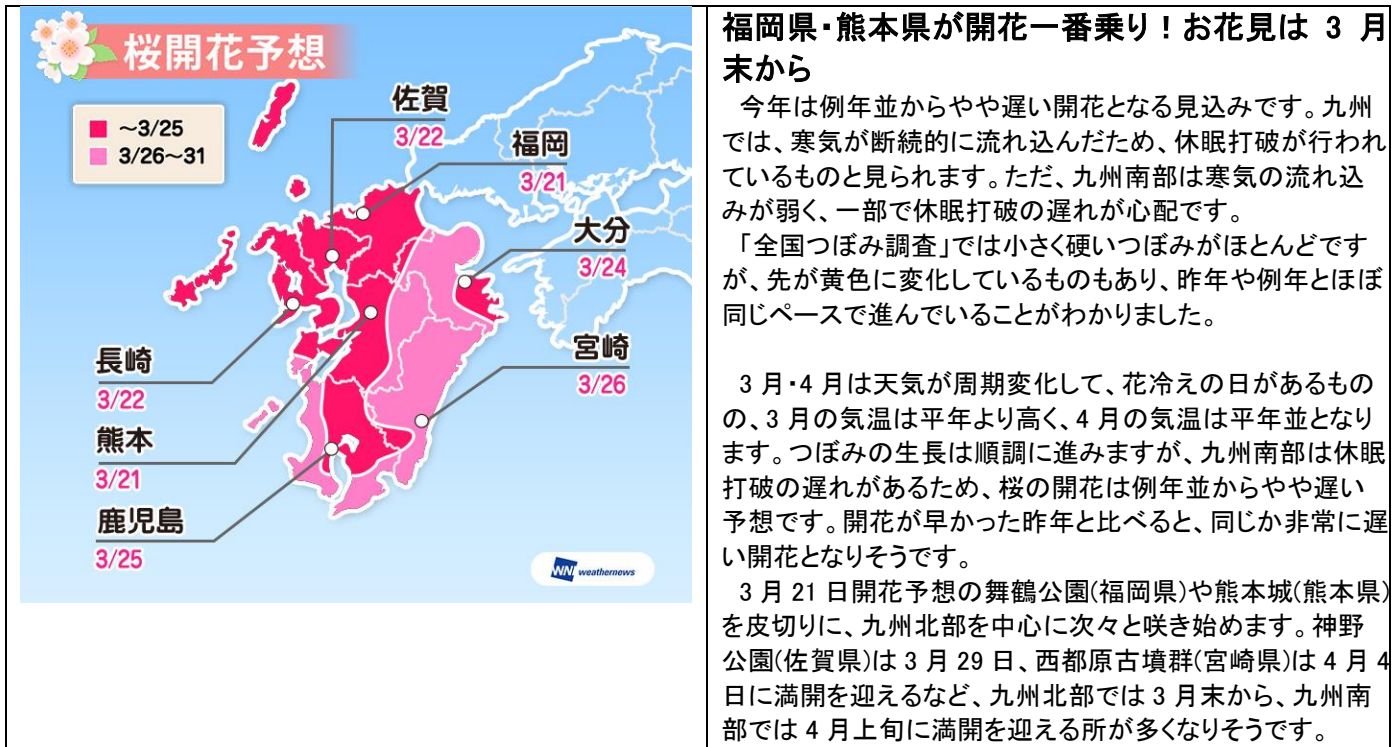
高知市・松山市・広島市から開花スタート！お花見は3月末から

今年は例年並の開花となる所が多い見込みです。中国・四国では、暖冬傾向により一部で休眠打破の遅れている所もありますが、寒気が断続的に流れ込んだため、休眠打破が行われているものと見られます。

「全国つぼみ調査」では小さく硬いつぼみがほとんどですが、先が黄色に変化しているものもあり、昨年や例年とほぼ同じペースで進んでいることがわかりました。

3月・4月は天気が周期変化して、花冷えの日があるものの、3月の気温は平年より高く、4月の気温は平年並となります。つぼみの生長は順調に進み、桜の開花は例年並の3月下旬となる予想です。開花が早かった昨年と比べると、同じか非常に遅い開花となりそうです。

3月22日開花予想の高知公園(高知県)や松山市・広島市から開花が始まり、4月に入ると中国山地の標高の高い所まで広がります。松山城山公園(愛媛県)は3月30日、岡山後楽園(岡山県)は4月1日に満開を迎えるなど、四国では3月末から、中国地方では4月初めから満開を迎える所が多くなりそうです。



◆参考:ウェザーニューズの桜開花予想の定義

<名所 700 か所の桜開花予想>

ウェザーニューズでは、木に“1 輪以上”の花が初めて咲いた日を桜の“開花日”と定義しています。また、敷地内に複数の桜の木がある公園などの開花日は、“敷地内の桜の開花(1 輪)がピークを迎える日”と定義しており、施設管理者などの判断を基準としています。

<主要都市の桜開花予想>

同じ地域の桜でも、樹齢や生育環境によって桜の開花日は 1 本 1 本異なります。身近な桜の開花日をより感覚に合った形でお伝えするため、各主要都市の開花日は、エリアを代表するある 1 本の木の開花日を基準とするのではなく、“その都市ごとの開花(1 輪)のピーク開始日”を発表しています。ピーク開始日は、その都市の桜の 2 割が開花(1 輪)する日と定義しています。(気象庁の気象官署とは異なります)

<例年の開花日>

例年の開花日は、2014~2018 年の過去 5 年の平均で算出しています。近年の桜の開花日が早まる傾向を反映したためです。なお、例年の開花日と予想開花日の差が、±2 日の場合は「例年並」、±3~4 日は「やや早い」・「やや遅い」、±5 日以上は「早い」・「遅い」と表記しています。

<満開開始日>

8 分咲き以上となった日を満開開始日と定義しています。

◆参考: ウェザーニュースの桜開花予想の手法

ウェザーニュースでは、これまでに「さくらプロジェクト」に寄せられた 200 万通以上の桜のレポートおよび桜の名所への独自取材をして得られた実況データを統計的に分析し、今シーズンの実況気温・予想気温のデータをもとに開花日を予測しています。

なお、今シーズンの「つぼみ調査」の結果を取り入れて予測する「第四回桜開花予想」は 3 月 5 日(火)に発表を予定しています。その後も毎週火曜日に発表していく予定です。



(1) 桜レポートの分析

ウェザーニュースでは、全国各地の一般の方(ウェザーリポーター)と「つぼみ」の段階から桜の生長を見守り、「開花」「満開」「桜吹雪」「葉桜」の過程を共に観察する取り組み「さくらプロジェクト」を 2004 年以降、毎年実施しています。2018 年の参加者は約 1 万人にのぼり、当社には昨年までの 15 年間に寄せられた 200 万通以上の桜レポートが蓄積されています。「桜開花予想」は、全国各地から届くつぼみの生長状況のレポートを取り入れ、1 本 1 本の木に対してピンポイントな予想を発表しています。



(2) 全国 700 か所の桜の名所への取材データ

ウェザーニュースでは、全国の桜の名所 700 か所に電話などで独自に取材を行い、桜のつぼみの生長状況や開花状況を調査しています。取材で得られる調査結果も統計的に分析し、開花予想に反映しています。

(3) 近年の統計データを分析

桜の開花予想を算出する際、過去の統計は分析の基本データとなります。通常、桜の開花予想には過去 30~50 年程度の長期間のデータを使用しますが、昨今の平均気温の上昇傾向により、長期の統計データでは、正確な開花予想の算出が難しくなってきました。ウェザーニュースでは気温が上昇傾向にある過去 20 年の統計データを基本データとして使用し、各地点の開花予想を算出しています。また、近年の急激な温暖化を考慮するために過去 10 年の統計データも参考にして分析を行っています。

(4) 最新の気象データをもとに気温の推移と開花予想を算出

桜の開花には、前年からの気温が大きく関係します。桜の順調な開花には、つぼみの生長を促す春の暖かさに加え、つぼみが休眠打破するために、前年の秋から冬にかけての寒さも必要です。また、開花のタイミングは 3 月の気温に大きく影響されます。3 月の気温が高く、春の訪れが早いほど桜のつぼみの生長は促進され、開花が早まる傾向にあります。一方、開花直前の時期に寒の戻りがあると、寒さが強まった日数だけ開花日が遅れることがあります。寒の戻りによる開花の遅れは、開花時期直前のつぼみ調査や独自週間予報等から予測に反映しています。また、全国 3,000 か所に設置している気象観測システム「WITH センサー」の観測データも加味して予測を行っています。